

おいでよ

こらぼ



平成 29 年

夏

教室・講座、やりたいことを実現！



特集 ボランティアでつながろう！

- ・身近なところに地域力あり 4P
- ・被災地支援と地域防災力の向上について 5P
- ・こらぼ大森での取り組みのご紹介 6P
- ・協働講座開催報告 - みどりのカーテン 7P
- ・こらぼ大森夏のイベントご案内 8P

(2-3P)



特集

ボランティアでつながろう！

町会のお祭りやNPOが企画するイベントなど、様々な地域活動でボランティアの方々が活躍しています。こらぼ大森においても夏まつり等のイベントをはじめ、グラウンド芝生の育成や園芸活動など、ボランティアの方々には大変なご協力をいただいています。区民活動にとって、ボランティアは、今やイベントや事業の成功に欠かすことができないです。

本号では、地域活動を支えるボランティア活動を取り上げることにしました。ボランティア活動は、勤め先や親せき付き合いとは異なる出会いを得ることが出来ます。ところで、皆さんは、ボランティア活動にどのようなイメージをお持ちでしょうか。

■そもそも、ボランティアってなんだろう？

ボランティアへの関心は、定年退職後の男性の第二の人生を問う意味合いでも高まっています。最近では、学校の授業で取り上げられることもあり、若い人の中では実際に体験をする機会も増えていると聞きます。ただ、ボランティアの経験の違いにより、ボランティアへのイメージに差があるようです。

経験したことのある活動の種類によって、そのイメージは異なることがあるかもしれません。ボランティアについて明確な定義を行うことは難しいですが、一般的には「自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為」を指してボランティア活動とされています。

◎主体性

自ら進んで行い、強制されるものではありません。

◎社会性

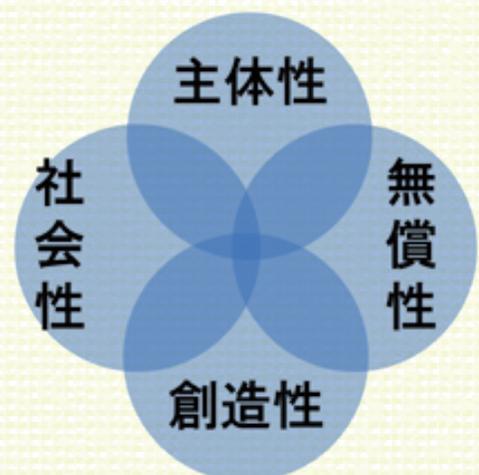
社会をよくしていく活動をします。

◎無償性

見返りを求めての活動ではありません。

◎創造性

社会における問題点を自ら見つけ、解決します。



プレゼントやお金といった対価を求めずに、自分が好きだから、生きがいだから、といった充足感がボランティアの醍醐味ともいう方もいますが、活動することに生じた実費（交通費、材料費、飲料費、ボランティア保険料）は、運営団体が拠出することもあるようです。

■ボランティア活動の発展に向けて

ボランティアをする方が、気持ちよく活動をし、活動そのものを円滑に進めるために、今ボランティアコーディネーターの活動が注目をされています。コーディネーターは、ボランティア志望者の希望やスキルと現場のニーズを調整して、志望者と受け入れ先の情報把握やトラブルを未然に防止し、活動がスムーズに進むようにする役割があります。

大田区社会福祉協議会のボランティア・区民活動センターでは、毎年、ボランティアコーディネーターのスキルアップ講座を実施しています。今年の講座では、地域のボランティアを受け入れる福祉施設のスタッフなどが、多数参加されていました。参加者からは、「形式的な情報集約だけではなく、ボランティアの立場で考えることが大切ですね」といった感想も出されていました。

こうしたボランティアコーディネーターの役割が重要になっている今、ボランティア希望の方、区内の団体、そして地域が、有機的につながるボランティア活動の拠点をこらぼ大森としても作ってまいります。

(取材協力：大田区社会福祉協議会 ボランティア・区民活動センター)

■こらぼ大森の緑化活動に携わるボランティアの方々

こらぼ大森では、いくつかあるボランティア活動の中でも、みどりにまつわるボランティア活動が特に盛んです。イベントや活動を通じて、地域での顔と顔の関係が深まっています。



身近なところに地域力あり

夏のこの時期、どこからともなく笛の音と太鼓の音が聞こえてきます。そんな地域のお祭りはもちろん災害の時や私たちの日々の暮らしに深くむすびついた様々な場面で活動をしているのが自治会・町会です。こらば大森も、設立時から現在まで、地域の自治会・町会の皆さんに大変お世話になってまいりました。ここでは、「地域力」として地域を支えて下さっている自治会・町会の皆さんの活動の様子をお伝えします。今回は大森鶴渡町会をご紹介します。

大森鶴渡町会の地域活動

大森鶴渡町会 副会長
布施 英雄 さん

私たちの町、大森鶴渡町会は、大森西地区南の外れ蒲田1・2丁目と商店街を挟んで、大森西6丁目の全域と7丁目の約半分の範囲です。

第一京浜国道から南西に長く伸びた地形をしています。昨年は、梅屋敷梅交会協同組合、蒲田2丁目東町会、蒲田2丁目自治会、そしてわが町会の四者合同で、大田区の助成金をいただき、計23台の防犯カメラの設置をいたしました。この地域全体の安心・安全のまちづくりが出来ました。

また、私たちの町会には東邦大学医療センターがあり、病院が行う本格的な防災訓練には毎年参加させて頂いています。

昨今、この医療センターを中心に町会、商店街等周辺の様子が変わりつつあります。大学や病院の先生方看護師さん、学生さん達とも、コミュニケーションを深め、街の発展や町会活動などにご協力を頂けたらと考えています。



この町の中央に、大森西地区3番目の広さを誇る鶴渡公園があります。この公園を起点に盆踊り、夏まつり、チャリティー餅つきなどが行われます。

私たちの市民消火隊は、地域の守護神として、隊長以下14名で毎月1回訓練を行っています。

今年の夏には、梅交会（商店街）の提案により、冒頭で紹介した、防犯カメラ設置で協力し合った四者及び、区立蒲田特別養護老人ホームで毎年行われている恒例の夏祭りとも一緒になって、盛大に合同の防犯訓練を行うという企画が組まれています。商店街を挟んで分断している蒲田1・2丁目町会との交流の中でのこのプランは、商店街の大森地区と蒲田地区の風通しをよくしようという梅交会協同組合の提案で企画されたものです。



被災地支援と地域防災力の向上について

- 縁プロジェクトの活動より 縁プロジェクト代表 仙裕司さん

(文責:新倉太郎さん)

大田区では、2011年（平成23年）3月11日の東日本大震災以降、区と区民が一体となって、被災地、被災者および避難者の支援ボランティアを行ってきました。その活動は、いまでも受け継がれ、大田区と宮城県東松島市とは深い「縁（えにし）」と「絆」で結ばれています。



縁プロジェクトは、東松島市現地ボランティアが中心となって、2012年1月に設立したボランティア団体です。大田区の社会教育関係団体にもなっています。主な活動は以下の通りです。



被災地支援ボランティア

東日本大震災だけでなく、毎年のように日本列島を襲う災害に対して、縁プロジェクトは支援ボランティア活動を行っています。2013年10月の伊豆大島土砂災害。11月のフィリピン台風災害。2014年広島市土砂災害。2015年鬼怒川氾濫。そして2016年熊本地震…と毎年起こる災害に対して可能な限り、被災地支援ボランティアとして現地へ赴いています。

松ぼっくりの里帰り大作戦

津波で壊滅的被害を受けた松林の再生のために、宮城県の松ぼっくりから大田区内で苗を作り、育てて東松島市へ移植します。

松の苗を育てることにより大田区にしながら、東松島市を想い、震災を忘れずに共に歩んでいきます。

育て始めて約4年経った、2016年11月に第一弾を、また2017年4月に第二弾を東松島市に植樹しました。

これからも里帰りを待つ『松子』たちの植樹と植樹後の世話焼きをしていきます。

絆音楽祭



震災の翌年の2012年から、蒲田駅西口の日本工学院専門学校において、「大田区&東松島市絆音楽祭」を行っています。東松島市民と共に歩んでいこう、という取り組みです。

今年の絆音楽祭は5月27日に実施しました。昨年11月に大田区と東松島市が友好都市になってはじめての絆音楽祭でした。両都市の新しいページを開くにふさわしい音楽祭になりました。



地域防災啓発活動



2013年からは、被災地で経験したこと、学んだことを大田区の地域防災活動に活かす取り組みもしています。東調布中学校、糀谷中学校、大森第三中学校、松仙小学校など、学校において災害時の避難所体験宿泊研修を毎年行っております。

また大田区の各地域において「出前防災セミナー」を実施して、私たちが被災地で経験し、被災者から学んだことを、語り部として大田区の皆さまに伝えています。

こらぼ大森での取り組みのご紹介



シルバー人材センター 大森西作業所

こらぼ大森施設内の1階にシルバー人材センター作業所があります。大森西地域周辺の高齢者の方を中心に作業に取り組んでいらっしゃいます。

現在、お仕事の管理をする人も含めて14名が在籍しています。大田区近隣の会社からの仕事をお引き受けしていて、配線をとめるクランプの組み立てや菓子箱の組み立て、ボトルの仕分けを行っています。作業によっては、何人かで分担をして取り組みます。

季節に応じて、仕事の内容も変わることがあるそうです。バレンタインに向けての時期は、チョコレートの菓子箱づくりを総出で取り組むとのことでした。

ラジオをかけながら、時にはおしゃべりをしながら、和気あいあいとした雰囲気です。仕事の取り組みが健康の秘訣、そんなお声も聞こえました。



今日も元気に、
生きがいを持っています！

こらぼ大森 配食活動

配食サービス「けやき」 本多さんよりメッセージ

高齢者（65歳以上）の方に毎週月曜日、昼食をお届けする活動をしています。今年は春が短く、急に暑くなりましたが、食欲が減り体調がすっきりしない方もいます。

そこで今回は、食欲を誘うカレーを使った「カレー風味肉じゃが」を紹介します。暑さを吹き飛ばしてほしいです。

配食サービスでは、すべて国産の材料を使い、お年寄りにも食べやすいよう、手作りで仕上げています。

出来上がりを待って温かいうちにお届けできるように努力しています。

夏のおすすめメニュー カレー風味肉じゃが

材料（2人前）

- じゃがいも 1個
- ニンジン 1/2本
- しらたき 1/2袋
- 玉ねぎ 1/2個
- 牛バラ肉 50g
- ※それぞれ1口大に切る。



調味料 - 醤油、酒、カレー粉（お好みの量）

作り方

1. 始めに鍋に油を入れて肉を炒め、皿に移す。その後、鍋に野菜類を入れて炒めた後、肉も鍋に戻し、水（あるいは出し汁）を入れて煮込む。
2. 調味料を入れて、水分がなくなる前にカレー粉を入れて味を調える。

※ご関心のある方は下記お問合せ先までご連絡ください。

活動団体	配食曜日	時間帯	1食	問合せ先
配食サービスけやき	月	昼	500円	03-3762-0266（城南保健生協）
こらぼ・このはな	火・金	昼	700円	090-8081-1267

今年こそ、失敗しない！みどりのカーテン

こらぼ大森では、毎年恒例開催のみどりのカーテンづくりの講習会を5月21日に開催しました。

講師は、この講座でおなじみのNPO法人東京城南環境カウンセラー協議会の吉井さんに今年もお願いしました。

今回は「今年こそ、失敗しない！」と題したこともあり、経験者の方にも多くご参加いただきました。

「ゴーヤの実がいつも大きくななくて」「マンションでは、どんな工夫が必要？」など、ゴーヤを育てるうえでの具体的な悩みや課題に応えるアドバイスが講師からありました。

植えから収穫まで一連の流れを学べて、未経験の方にもご好評をいただきました。

各ご家庭でしっかりとみどりのカーテンができるように、フォローアップ講座を7月、8月に開催いたします。フォローアップ講座からのご参加も可能です。

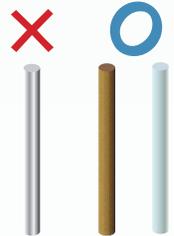


植え付け前の土づくりもポイントのひとつです！

ワンポイント・アドバイス！

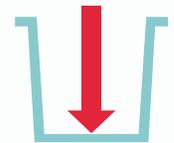
■ 茎を支える支柱

金属素材は、熱伝導で、焼けてしまいます。プラスチックや木の素材が良いです。菜箸でもOKです。



■ プランター

深いものを使いましょう。野菜用のものを使いましょう。40リットルに2苗ぐらいにしましょう。



* フォローアップ講座ご案内

みどりのカーテンづくりをサポートします。専門家に困りごとを相談してみよう！

- 日時** ① 7月9日(日) 13:30~14:30
 ② 8月5日(土) 13:30~14:30

会場 こらぼ大森 多目的室

内容 グラウンドに移動し、実地演習をします。

- ① 受粉の仕方など(ゴーヤの実をより大きく)
 ② 収穫の方法、ネットの片付け方 など
 ※お写真など持参歓迎します。

参加費 無料

対象 みどりのカーテンづくりでお悩みの方

講師 吉井 寛之 さん

(NPO 法人東京城南環境カウンセラー協議会)

* 園芸お手伝い大募集！

みどりのカーテンづくりや、菊づくりなどを一緒にこらぼ大森で園芸活動をしてみませんか？



去年の秋、受付を飾った菊

内容 朝と夕方の水やり・お手入れの補助

期間 2017年秋口まで(以降の延長も歓迎します)

来られる曜日・時間帯だけでも勿論大丈夫です。どうぞ、お気軽にお問い合わせください。

主催・お問い合わせ

こらぼ大森 情報交流室 I

☎ 03-5753-6560 mail:cbc10286@nifty.com

こらぼ大森 夏のイベントご案内

第14回こらぼ大森夏まつり -てをつなごう！ みんなのちから！-

今年も被災地復興を願い開催します。福島県から人形劇団「赤いトマト」が公演します。

日時：8月20日（日）午前11時～午後3時

場所：こらぼ大森

内容

- 飲食ブース（東松島牛タン・おでん・焼きそば・かき氷・パンなど）
- 産直野菜販売（東北・熊本の採れたて野菜）
- モノづくり体験（平和のミニ版画・紙トンボなど）
- スポーツ体験（バスケットボール・三角ベースなど）
- ゲーム体験、健康チェックコーナーなど予定



主催：NPO 法人大森コラボレーション・第14回こらぼ大森夏まつり実行委員会

共催：大田区・大田区大森西地区自治会連合会

写真展 -今、子ども達に伝えたい 平和の心-

日時：7月29日（土）・30日（日）

場所：こらぼ大森（多目的室・軽食コーナー）

内容

- 写真と資料の展示（29日・30日 午前10時～午後4時）
東京が焦土と化した戦時中とその後の様子を、写真や資料でふりかえります。
- お話し - 親子で学ぶ戦争体験と地域の歩み - （30日 午前10時～12時）
戦争を体験された方のお話を伺い、何を受け継いでゆくか考えます。

主催：こらぼ大森

編集部より

季刊誌「おいでよこらぼ」をご覧ください誠にありがとうございます。
本誌についてご意見・ご感想を下記のFAX又はメールでお寄せ下さい。
①お住いの地域（大森等）、②性別、③年代（50代等）をお書きください



あて先：こらぼ大森情報交流室 I

・FAX 03 - 5753 - 6560 ・メールアドレス cbc10286@nifty.com



発行者 齋藤十四男

発行日：2017年7月1日

大田区区民活動支援施設大森 こらぼ大森

住所：〒143-0015 大田区大森西 2-16-2

電話：03-5753-6616

URL：<http://collabo-ohmori.com/>



QRコード